

変えませんか 安心と希望のもてる区政へ

ごいっしょに力をあわせましょう



よせられた区民アンケート

区政で力を入れてほしいもの

- 1位 高齢者福祉
- 2位 医療・保健
- 3位 介護
- 4位 環境
ゴミ・リサイクル
- 5位 教育

介護保険料の減免

- ①実施すべき 69.1%
- ②わからない 23.7%
- ③必要ない 7.2%

以前と比べてくらしが

- ①苦しくなった 72.9%
- ②変わらない 22.1%
- ③よくなった 1.3%

日本共産党の
「区民アンケート」

(中間集計)より

区民のくらしと暮らしは大変です。倒産や失業が増え、国保料、区民税さえ滞納せざるを得なくなっています。また生活保護世帯も増えています。

日本共産党の足立区議団が実施した「区民アンケート」の回答でも、「以前より暮らしが苦しくなった」の声は72.9%にもなっています。

しかし、鈴木区長が提出した予算は区民のくらしを支えるものになっていませんでした。約1000億円の予算のうち、わずか0.75%（約十五億円）をくらしと暮らしにまわせば「安心と希望」の区政へと第一歩をふみだすことができます。三月議会で日本共産党は、この立場から修正案を提出し、区政のあるべき今後の方向を示しました。

日本共産党の修正案は、鈴木区政与党の自民、公明、民主などの反対で否決されましたが、示された内容は今後にも生きるものです。

鈴木予算をわずかに組み替えるだけで「安心と希望」の区政へふみだせます

「わずかな年金から介護保険料が引かれることはとても痛いです」 (77歳・女性)



「保険料が重荷」「払いたくても払えない」の声を高齢者からあふれています。日本共産党は、介護保険会計の貯金基金が十八億円もあり、うち四億五〇〇〇万円あれば七五二〇〇人余の方たちの保険料の減額・免除ができることを明らかにしました。

ところが、鈴木区政とその与党はこれを拒否し、区民の願いに背を向けました。日本共産党は、区民の要望が実現されるまで引きつづき全力をつくすものです。

介護保険は「貯金(基金)が18億円もあるんだから、保険料の減額・免除できます

「40歳でも仕事がないんです」(男性)



区内で雇用と仕事が必要です

倒産、リストラ、失業...いま区民は生活の基盤が崩れています。

日本共産党は、まちの皆さんの仕事になる住宅改良助成事業の復活や歩道バリアフリー化の推進をはじめ、福祉、教育

区内企業の倒産
(負債額1千万円以上)
平成11年-81件
12年-125件
13年-131件

分野など区内の雇用をふやすこと、「わが店目慢マップ」など商店街の活性化をすすめる予算修正を示しました。

ところが鈴木区政の予算は、雇用対策では国の施策の範囲を一步も出ず、大型店出店も野ばなしで、これでどうして「産業の未来を育む」と言えるのでしょうか。日本共産党は区民・業者の苦しみを解決し切実な要望を実現するまでがんばります。

「働く母子家庭でも入れません。なんとかしてください」 (28歳女性)



日本共産党は、本当に待機児を解消するには、区有地等に計画的に認可保育園を増設することだと強く求めました。

認可保育園の増設こそ待機児解消の保証です

「生きがい・健康増進といいながら助成金カットはおかしい」 (73歳・男性)

日本共産党は予算修正案で、老人クラブ運営費助成の削減分を元に戻すことは十分に出来る予算額を示し、復活を要求しました。

しかし、鈴木区政は老人クラブの役割・活動を認めながらこれを拒否しました。なんと冷たい区政でしょうか。

「元氣高齢者の支援」というなら助成金を復活すべきです

老人クラブ

日本共産党
足立区議団ニュース

発行所
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 大島芳江
編集責任者 伊藤和彦

2002年第1回定例区議会報告

みなさんのご意見をお寄せ下さい

足立区議団 TEL03-3880-5770 FAX03-3880-5682

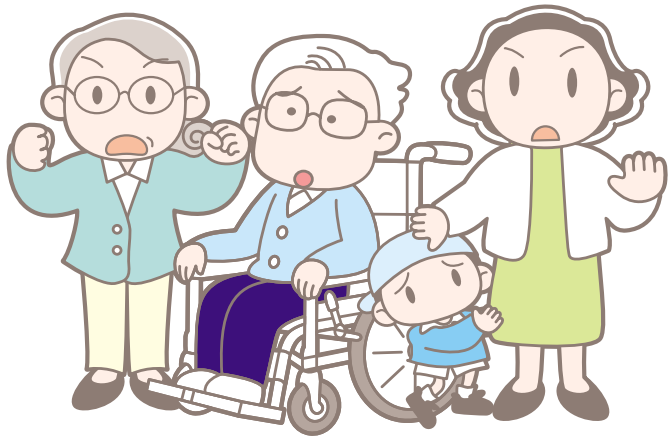
足立区議団メールアドレス acmp@blue.ocn.ne.jp 足立区議団のホームページ <http://www.cpi-media.co.jp/adachi/>

同じ予算でもくらしを主役にすれば
こんなことができます
日本共産党

「明日のことを心配 しない生活を望む」

区民アンケートより

(68歳・女性)



「本当に区民のためになる
お金のつかい方をしたい」
(60歳・女性)

「一〇歳の子供がいる母子家庭です。本当に児童扶養手当がなくなってしまうのでしょうか。私にとつては切実な問題です。大学まで行かせてあげたいがきつと難しいと思います。生活するだけで精一杯です」
(二二歳・女性)

「退職して一年半になります。今でも医療費が大変ですが、この先どうなるのか…」
(五八歳・男性)

「私は障害者で社会に出ることが出来ず父は高齢・不況で仕事が出来ず、父のわずかな貯金で暮らしているが、貯金も底をついてきました」
(三三歳・男性)

「製造業だったが倒産し、家も財産もなくなり今は年金にて生活中。夫は他界しました。食事はただあるもので最低限とっているが栄養のバランスがとれているのか、健康がすぐ不安です」
(六四歳・女性)

「この先どうなるのか…」区民アンケートには将来への不安が本当にたくさんつづられています。

日本共産党は、都や国が対応を強めるよう求めるとともに、区でできることは率先して行うべきと、乳幼児医療費助成所得制限の撤廃、高齢者福祉手当支給の継続、生活習慣病予防健診の個別通知実施、

育英資金貸付け事業の拡充、障害者入所施設の建設などを予算修正案で提案。

これらは区民の願いとも一致する当り前の要望であり財源的にも十分実施可能なものです。

力を合わせれば政治は変わります。区民の願いが生きる区政に変えるため、ごいっしょに力を合わせましょう。

「総合スポーツセンターの健康体操が有料化。節約する場所がちがうのではないか」
(52歳・男性)

区民の生活や健康、命にかかわる予算まで切る必要はありません。しかし鈴木区政は「お金があつても区民施策を削る」「お金があれば開発経費に当てる」姿勢を強め、愚子の会計を「赤字に見せかける操作までおこなつて、こうした切実な予算を削つてきたのです」。

日本共産党は不要不急の事業は先送りするなど、お金の使い方を変えるよう提案しています。

たしかに古き区政時代につくられた借金の返済などで決して区財政は楽ではありませんが、区民の生活や健康、命にかかわる予算まで切る必要はありません。

区は、学童保育料二九〇〇円を四月から六〇〇〇円に値上げする予算を提出。保護者から「所得が下がる中の倍額負担、何を考えて区政を行っているのか」と怒りの声がよせられました。

日本共産党は、学童保育料を元に戻すことを予算修正で提案しました。

また、「値上げは納得できないが、せめてそれに見合った内容の充実を」という区民の陳情が議会に提出されました。

これは学童保育室の増設、夕方六時までの時間延長、おやつや充実など保育内容の拡充を求める当然のものであり、日本共産党は「ぜひ採択を」と主張しました。

ところが鈴木区政の与党、自民、公明、民主などは、署名一万名をこすこの陳情を不採択にしました。

「説明会で、4月より月額6000円ですといわれて えっ!!」
(44歳・男性)

区は、学童保育料二九〇〇円を四月から六〇〇〇円に値上げする予算を提出。保護者から「所得が下がる中の倍額負担、何を考えて区政を行っているのか」と怒りの声がよせられました。

日本共産党は、学童保育料を元に戻すことを予算修正で提案しました。

また、「値上げは納得できないが、せめてそれに見合った内容の充実を」という区民の陳情が議会に提出されました。

これは学童保育室の増設、夕方六時までの時間延長、おやつや充実など保育内容の拡充を求める当然のものであり、日本共産党は「ぜひ採択を」と主張しました。

ところが鈴木区政の与党、自民、公明、民主などは、署名一万名をこすこの陳情を不採択にしました。

これは学童保育室の増設、夕方六時までの時間延長、おやつや充実など保育内容の拡充を求める当然のものであり、日本共産党は「ぜひ採択を」と主張しました。

ところが鈴木区政の与党、自民、公明、民主などは、署名一万名をこすこの陳情を不採択にしました。

「少人数学級」と子どもの「居場所づくり」が必要

=しっかりした学力をつけてもらいたい(43歳・男性)=

学校の完全五日制や新学習指導要領の実施で、「子どもの学力は大丈夫か」「休みの日の子どもの居場所は？」などさまざまな不安・悩みが強まっています。

しかし、区は学校の統廃合や選択の自由化で「すし詰め」の学校をつくったり、学力をつけるとして「出来る子」「出来ない子」に分ける習熟度別学習を進めようとしています。

日本共産党は、30人以下の少人数学級を足立区でも実施するようもめるとともに、当面特別講師を3年間で全校に配置して少人数授業をおこなうこと、子どもの居場所作りのため、ストリート・バスケットゴールの新設やバンド練習場の確保など具体的に提案しました。

子育て支援も業者の願いも「継続審議」で棚上げ

乳幼児医療費助成の所得制限撤廃と、生業資金の貸し付け条件を元に戻し対象を広げることが、区民にとって切実な願いです。日本共産党は昨年九月の議会に、この願いを二つの条例として提案しました。しかし、この条例案を審議する厚生委員会では、自民党や区に所得制限撤廃を予算要望している公明党まで、まともに審議もせず棚上げ、いまだに実施に背を向けています。

また浮上してきたホテル案

予算特別委員会で自民党N議員は、「あんないいホテル計画」「駅に近い学校の跡地を利用してホテルを」と発言。

また自民党F議員も「必要なのはホテル」とのべました。

区の企画部長は「(ホテルはいらないという)審判は下っていないと考える」「いずれ景気が上向けば足立区でもホテルをやっていけると思う」と答えました。

みなさんと日本共産党のがんばりで実現しました

綾瀬新橋の歩道が
広くなります

狭くて危ない綾瀬新橋について区は三月議会で、暫定的に歩道を広げる工事を行い、今年度末までに完了すると答弁。これにより、安心して渡れる綾瀬新橋を願う切実な住民要望が実現することになりました。日本共産党は、十一年以上前から渡辺やすのぶ都議と連携しながら、区民とともに改善の運動にとりくんできました。署名を集め、都庁や第六建設事務所に行ったり、議会でも何度も取り上げるなど実現に努力してきました。

要介護認定者も
障害者控除の対象に

日本共産党は、厚生省社会局長通知(昭和四五年)にもとづけば、介護保険の要介護認定者も所得税法上の障害者控除の対象になる可能性があることを明らかにし、議会でも取り上げ質問しました。介護保険の要介護認定者がただちに障害者控除の対象になるものではないが、介護を要する高齢者などからの申請があれば福祉事務所が調査の上、「障害者控除対象者認定書」を発行し税金の控除が受けられることが確認されました。